

## シラバス情報

授業方法	講義・実験・実習		
系 列	自動車整備		
科 目 名	シャシ整備2		
必修・選択	必修科目・選択科目		
対象学科	一級自動車整備科・二級自動車整備科		
年次学期・曜日・時限	2年後期 ・ 木曜日 ・ 3・4時限あるいは5・6時限		
時 限 数	24時限（中間及び期末試験を除く）		
担当教員名	松原 吉彦		
実務経験	有 ・ 無		
	国土交通省に認証された事業場における保守・点検・分解・組立など自動車整備士としての経験を活かし、整備を行う上で必要となるシャシを構成する各装置についての講義を実施する。		
授業の目的	シャシを構成する各装置・部品等の保守・点検・整備について講義する。		
テキスト	二級自動車整備士（総合）（日本自動車整備振興会連合会 発行）		
授 業 計 画			
授業回数	テーマ	内容・方法等	使用テキスト 範囲
第1回	ステアリングと旋回性能	機能及び性能についての解説。 練習問題と課題プリントも使用。	P.151~156
第2回	油圧・電動パワーステアリング	機能と構成部品や特徴などについて解説。 練習問題と課題プリントも使用。	P.156~166
第3回	ホイール及びタイヤ①	役割や機能及び性能についての解説。 練習問題と課題プリントも使用。	P.167~174
第4回	ホイール及びタイヤ② ホイールアライメント①	役割や機能及び性能についての解説。 練習問題と課題プリントも使用。	P.175~180
第5回	ホイールアライメント②	役割や機能及び性能についての解説。 練習問題と課題プリントも使用。	P.181~186
第6回	ブレーキ装置①	機能と構成部品や特徴と役割などについて解説。 練習問題と課題プリントも使用	P.187~194
	中間試験	第6回までの授業内容に関する筆記試験	
第7回	ブレーキ装置②	機能と構成部品や特徴と役割などについて解説。 練習問題と課題プリントも使用	P.195~202
第8回	ブレーキ装置③	機能と構成部品や特徴と役割などについて解説。 練習問題と課題プリントも使用	P.203~206
第9回	ブレーキ装置④	機能と構成部品や特徴と役割などについて解説。 練習問題と課題プリントも使用	P.207~213

第 10 回	ブレーキ装置⑤	機能と構成部品や特徴と役割などについて解説。練習問題と課題プリントも使用	P.213~217
第 11 回	ブレーキ装置⑥	ブレーキ装置の整備について解説	P.218~221
第 12 回	フレーム及びボデー	フレーム及びボデーの構造、種類及び特徴について解説	P.222~227
	期末試験	第1回～第12回までの授業内容に関する筆記試験	
到達目標	シャシを構成する各装置・各 부품の構造・機能、及びそれらの装置の作動について講義する。点検整備の重要性を理解し、シャシの各装置・各 부품の点検及び整備方法を習得する。		
成績評価方法	平常点（小テスト、レポートやノートの提出とその評価、出席及び授業態度）、中間試験並びに期末試験を合算して行う。		
定期試験受験資格	開講された全時限に出席し、レポート・ノートの提出が完了している者。 欠席した時限がある場合は、補講も完了している者。		
成績評価基準	<p>成績評価は、期末試験の点数が40点以上を満足した上で、100点を満点とする整数について、次の割合で行う。</p> <p style="padding-left: 40px;">中間試験の点数 30%</p> <p style="padding-left: 40px;">期末試験の点数 40%</p> <p style="padding-left: 40px;">平常点 30%</p> <p>上記の割合によって学期末の評点が60点以上である場合、以下によって評価する。</p> <p style="padding-left: 40px;">60～69点 = 可、70～79点 = 良、80～89点 = 優、90点以上 = 秀</p> <p>60点未満の場合、再試験を行い、試験点のみで60点以上のとき履修を認定し、成績は60点 = 可とする。</p>		
成績評価できない場合の基準	全講義を終了時点の出席率が50%を満たしていない場合、又は、成績評価が60点未満の場合。		